

病児保育だより

2025 年度 No.1

医療法人はあと 病児保育はあとキッズ
〒452-0933 愛知県清須市西田中白山 5
TEL:052-898-7625

登録・ご予約は
あずかるこちゃんから



Q&A -コロナの検査について-

当施設ではお子様の症状に応じて新型コロナウイルス感染症の検査をしていただくようお願いしております。
ここでは、コロナ検査についてよくあるご質問についてお答えします。

Q.1 どういうときに検査が必要になりますか？

A.1 病児保育を**利用したい日の前日～利用当日の朝の時点で 37.5℃以上の発熱**があった場合に検査をします。

Q.2 かかりつけでは検査をされないのですが、どうして病児保育利用の際には検査が必要なのですか？

A.2 風邪症状のお子様のなかに新型コロナウイルス感染症が潜んでいた場合に、同室でお預かりするお子様や職員への感染リスクがあるため、検査をしたうえで陰性結果の場合のみお預かりをさせていただいております。
感染症拡大を防ぎ、お預かりするお子様たちの安全を守るための対応となりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

Q.3 かかりつけの病院で医師連絡票を取得する場合の検査はどのようにしたらよいですか？

A.3 受診時に発熱がある場合は、**病児保育を利用するためにコロナの検査が必要な旨を医師にお伝えして**検査をしていただくようお願いいたします。受診時に発熱がない場合にはコロナの検査を受ける必要はございません。

検査について詳しく知りたい方はあずかるこちゃんに記載の注意事項欄をご確認いただくか、
お電話にてお問い合わせください。



異年齢児との製作あそび -マジックスピラルキューブ作り-

0歳児から小学6年生まで幅広い年齢の子どもたちが利用できる病児保育室。小学生の男の子と年長の女の子がご利用されたところ、おりがみを使ってマジックスピラルキューブ作りに挑戦しました！
保育士に折り方を教えてもらったり、一緒に折ってもらったりしながら製作あそびに集中して取り組んでいく2人。同じ遊びをそれぞれのペースで楽しむことができました☆



両端をねじりながら
ひっぱると...



しかくいキューブが出現！！

4月～6月の利用状況

4月

利用者 20 名
ご利用が多かった症状
かぜ 14 名

5月

利用者 21 名
ご利用が多かった症状
かぜ 15 名

6月

利用者 26 名
ご利用が多かった症状
かぜ 16 名

4～6月は新年度の始まりで疲れが出やすい頃。
発熱を伴うかぜ症状でご利用される方が多かったです。
6月には胃腸炎が流行り、かぜ症状について下痢や腹痛、嘔吐の症状でご利用される方もいらっしゃいました。

季節も夏を迎え、これから暑さの厳しい日が続いていきます。

水分補給をこまめにしたり、室温を調整したりしながら
熱中症にならないよう気をつけていきましょう。

また、夏の感染症が流行りだす時期にもなります。

暑さに負けないようにバランスの良い食事を摂り、
遊ぶときは思い切り遊び、休めるときにはしっかりと体を休めて
毎日元気に過ごせるようにしましょう。



年々と夏の暑さが増しており、大人も子どもも熱中症にかかるリスクが高まっています。
特に子どもは体温調節機能が未熟で、汗をかきづらく、体温が上がりやすいため、熱中症になりやすいです。
小さな子は体の不調を上手に訴えられず、遊びに夢中になると暑さに気が付けないこともあります。
そのため、子どもの熱中症対策には大人の力が必要不可欠！熱中症予防のポイントを知り、暑い夏を乗り切りましょう。

熱中症を防ぐためのポイント

◎顔色や汗のかき方を十分に観察する

顔が赤く、酷く汗をかいている場合には体の内部の温度がかなり上昇していると考えられます。
涼しい環境で十分な休息が取れるようにしましょう。

◎こまめに水分補給をする

喉の乾きに応じて適度な飲水ができる能力を身に着けられるのがベスト。
こまめに水分補給を促したり、水分を多く含む食事を提供したりすることで脱水を防ぎましょう。

◎暑熱順化の促進

暑熱順化とは体が暑さに慣れて、熱中症になりにくくなる状態のことをいいます。
日頃から適度に外遊びをして、身体を暑さに慣らしておくことが大切です。

◎服装選び

吸湿性・通気性の良い素材や薄い色の衣服を選んだり、屋外では帽子を着用したりすることで、
熱や日差しから体を守りましょう。